

令和4年度第1回相楽東部広域連合総合教育会議 会議録

1 日時 令和4年10月19日（金）午後1時30分～3時00分

2 場所 和東町体験交流センター 会議室

3 出席者 広域連合長 堀 忠雄
副広域連合長 中 淳志
副広域連合長 平沼 和彦
教育長 岡田 善行
教育委員（教育長職務代理者）石橋 常男
教育委員 村田 年宏
教育委員 上村 恵子
教育委員 鈴木 慶一

4 傍聴人 なし

5 議事

(1) 開会

司会 小森事務局長

(2) 広域連合長あいさつ

堀 広域連合長

相楽東部広域連合総合教育会議設置要綱第4条に基づき、広域連合長が会議の議長として以下の議事について進行を行った。

(3) 「魅力ある連合の教育について」

学校教育課から資料1に基づき説明があり、意見交換を行った。

<主な質疑・意見交換>

○教育長

ここでの魅力は、「財産としてあるもの」ではないか。例えば、田舎であることや、教員が一人一人の名前と家庭を把握しており、また、小規模校ゆえに、地域の良さを掘り起こせばすぐに教育につながる良さもある。そこを発展させていこうということ。

○副連合長

東部の魅力は、人間形成に力を入れ、いじめもなく仲良くやっていること。社会性の育成に力を入れていく中で、安心して移住できることに結び付けていければと思う。

○副連合長

コンテンツに対し持っている好奇心を大人が提示できれば、教材へ結びついていく、そして地域コミュニティを支えてくれる人材に育っていったくれる。

○教育委員

生きていく力をどう育成するかが大事。地域のバックアップが素晴らしく、そこをどう活用していくかということが求められているのではないか。

○連合長

子どもの教育のために3町村へ移住をしてみようと思う人が増える、そういう地域づくりをしてみたいと思っているが、なかなか一筋縄ではいかない。

○教育長

自然豊かな場所で、過ごしやすい環境であり条件は揃っているが、受け皿が出来れば、集まってこられる可能性はあると思う。

○副連合長

3町村の学校はこんな環境で、こんな教育をやっていると、学校の様子をもう少し行政側のHPにあげてアピールしたい。子どもたちも自分の学校への愛情が育つのではないか。

○教育長

根気強さや頑張る力など非認知という力で、小さければ小さいほど育つ。一番の入口は保育所。実は遊んでいる中でも非認知の力が育つ。そこも連携して伸ばしていければ。

○副連合長

保育所では「〇〇してはダメ」ばかりで、預かる方は、無事に家に帰すのが一番だが、それでは子どもは何も出来なくなる。そこを変えないといけない。

○連合長

様々な良い取組について住民をはじめ皆さんに知っていただく、そして地域ぐるみで取り組んでいくことが大事だと、そういう意味で、魅力ある相楽東部ならではの教育は日頃取り組んでいただいている内容が非常に大事と考える。

(4) 「学力の向上に向けた取り組みについて」

学校教育課から資料2に基づき説明があり、意見交換を行った。

<主な質疑・意見交換>

○副連合長

特にICT教育について、調べるのは早くて便利だが、記憶に残るという点では薄くなる。どのようすれば記憶に残るのかを考えることが重要。

○副連合長

データを集めることは必要だが、単なるデータ情報では生きた記憶にはつながらない。

○教育長

結局、何が勉強というと、自分でテーマを決めるところが勉強で、それを自分で見つけないといけない。答えを自分で見つけるよう勉強するやり方に変わってきている。

○教育委員

例えば、川の魚の話だが、誤ったデータを蓄積していると、それが常識化してしまっ

実はそうではないことが調べていくと出てくることがある。

○教育委員

デジタルシティズンシップ教育は、どういう理論でどのように進めるのか。

○教育長

“デジタル”を抜けば、主権者教育になる。デジタルのモラルの話もあるが、要は「自分のことは自分で決める」ことを、早い段階で、それも含めて自分で考えてもらおうということ。

○教育委員

インターネットの世界はすべて事実ではなく、例えば、エクセルを練習して最後の授業は自分で実際に線を引いて表を作る等、活用を進めた後、一度戻す授業があってもいい。

○教育長

自分のしたいことが決まれば、それを調べるために道具としてコンピュータを使うだけで、絵は自分で描くものと理解している。自分が何をしたいかはあくまで自分が決める。

○連合長

それが主になってしまっていてツールにしないと理屈が解らなくなるので、きちっとした基礎を踏まえて使っていくことが大事。

○教育委員

I C T教育はまだ動きだしたところ。これから皆さんがいろんな知恵を出し合いながら、本当のI C T利活用はどのようなものか、作り上げていく必要がある。

○教育長

連合では子どもたちがすごく良くなると、周りの人が思えばまちづくりにつながる。教育が出来ることは、子どもたちが生き生きと活動することや、子どもたちが賢くなることだと思うので、今ある財産を活用しながら、何をすればよいか考えていきたい。